

(学年) 第2年生、(教科・科目) 社会科

協働学習

(単元) 欧米社会における「近代化」

(本時のねらい)

本単元は、欧米諸国が近代化を果たすに至った過程が取り上げられており、因果関係を最も強く意識する内容となっている。本時の授業を通して、歴史的事象同士が強く結びついていることを意識させたい。

(ICT活用方法)

- ・産業革命当時の労働者の一日の生活の様子を調べるために、生徒一人一人がインターネットから情報を集める。
- ・授業支援クラウドアプリにワークシートをアップロードし、生徒一人一人が考えを書き込む。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命について復習をする。 ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命が起こった背景や産業革命によって綿織物の生産に機械が使われるようになったことなどを確認する。 ・本時の目標を提示する際には、産業革命により、資本家と労働者の対立が生まれたことやその対立で生じた問題が労働問題であることを説明する。 	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命当時の労働者の一日の生活の様子を調べる。 ・産業革命当時に労働者が過酷な労働 	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活について調べる項目を設定し、各項目の産業革命時の状況と現在の状況を比較できるようにする。 ・当時の労働者は長時間労働・低賃金とい 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウドアプリ上のワークシートに調べたことを記入し、学級全体で共有する。 ・授業支援クラウドアプリ上のワークシートの

	<p>環境に置かれていた理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発問を手掛かりにし、産業革命当時に労働問題が発生した理由を労働者の立場から考える。 ・当時の労働者の立場に立ち、過酷な労働環境を改善するために自分ならどのような行動をとるのかを考える。 	<p>った過酷な状況下で働いていたことを生徒が確認できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資本家の利潤追求が過酷な労働環境を生み出したことを生徒が確認できるようにする。 ・発問とともに、当時の労働者が置かれていた状況を説明することにより、労働問題が発生した理由を生徒が考える手助けをする。 ・労働者一人で労働環境の改善に対して働きかけることが難しく、労働組合をつくり、資本家と対立していったことを確認する。 	<p>資本主義経済の構造図のうち過酷な労働環境に関する箇所を着色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウドアプリ上のワークシートに記入する。 ・授業支援クラウドアプリ上のワークシートに記入する。
<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ産業革命によって労働問題が発生したのだろうか」の問いに対する自分の答えを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業内容を踏まえて記述することを確認する。 ・労働者が労働環境の改善を求めて労働運動を続けていったことが現在の労働環境につながっていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウドアプリ上のワークシートに記入する。

（授業の様子）



班での話し合いの様子



授業支援クラウドアプリに書き込む様子



授業支援クラウドアプリの画面をクラスで共有している様子

（生徒の反応と課題、改善を要する点）

本授業は、インターネットからの情報収集や授業支援クラウドアプリの活用を積極的に行った。教員があらかじめ用意した資料を基に考えるよりも生徒が積極的に授業に参加している様子が見られた。授業支援クラウドアプリ上の個人画面は共有することも容易であり、クラスメートの考えをクラス全体で瞬時に共有することもできる。そのため、班での意見交換以上に多様な見方や考え方に触れることができる。一方で、本授業は一人一台端末の使用が中心となってしまったため、作業が不慣れな生徒にとっては、授業内容を吸収しにくい状況になってしまった。1時間の授業で一人一台端末の使用の効果的な配分を考えることが課題である。